



神戸市SDGs債

インパクトレポート・ブック





1 神戸2025ビジョンの概要

2 神戸市SDGs債の概要

3 各施策の取組状況、KPIの達成度

1. 神戸2025ビジョンの概要





神戸市長
久元 喜造

神戸 2025 ビジョン 策定にあたって

このたび、2021年度から2025年度までを目標年次とする「神戸2025ビジョン」を策定しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人口減少、超高齢社会、東京一極集中など、従来から地方が抱える課題に加え、withコロナ時代、さらにその先のポストコロナ時代を見据えながらさまざまな施策を講じていく必要があります。

神戸は、市街地から至近の場所に六甲山や里山農村地域が広がり、穏やかな瀬戸内海に面しているなど豊かな自然環境に恵まれています。この地理的特長を最大限に活かし、人間中心で持続可能なバランスのとれたまちづくりを進めていくことが重要です。

また、進化するテクノロジーを積極的に取り入れながら、誰もが学び、働き、子育てし、住み続けるまちとして選ぶよう、「まちの質」「くらしの質」を重視した施策の強化を図り、神戸を見違えるまちへと変えていかなければなりません。

こうした背景を踏まえて、国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の考え方を取り入れ、神戸2025ビジョンのテーマを「海と山が育むグローバル貢献都市」としました。

海と山の豊かな自然環境、開港以来育まれてきた国際性や多様性といった神戸の強みを磨き、活かしながら、環境に貢献するまちづくりを進め、他者のために貢献する利他の市民性を発揮して、市民が心豊かに幸せを実感できるまちの実現をめざします。



- 2025年度までの神戸の都市像、まちづくりの方向性を示した「新・神戸市基本構想」、「神戸づくりの指針」を実現するため、神戸2020ビジョンを策定
- 神戸2020ビジョンが2020年度で終了することに際し、後継計画として2025年度までの実施計画である神戸2025ビジョンを策定

テーマ

海と山が育むグローバル貢献都市

基本的な考え方

- 豊かな自然と文化、多様な価値観が融合する神戸の強みを磨き、活かした新たな価値・スタイルを創造する
- 人口減少時代に向き合い、神戸のまち・くらしの質を高め、成熟都市の魅力を訴求し、好循環へ転換する
- 神戸に住み、働き、学び、楽しみ、あらゆる関係者が幸福を実感するまちを実現する
- ダイバーシティ推進やジェンダー平等の視点を確保し、女性が活躍できる環境を整え、外国人市民をはじめとした多様な市民の参画による多文化共生社会を実現する
- 震災から再起した市民の知恵・気風を活かし、あらゆる危機への備え、誰一人として取り残さず、人を大切にする安心・安全なまちを実現する
- テクノロジーの実装・デジタル化の加速による市民生活の豊かさや利便性向上、経済活動の回復・成長、環境貢献など、SDGsの達成による持続可能な都市を実現する

基本目標

- | | | | | | | |
|------------------------|--------------------------|-----------------|----------------------------|---------------------|------------------------|--------------------------|
| ①魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長 | ②妊娠・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実 | ③多様な文化・芸術・魅力づくり | ④災害や感染症などを踏まえた安全な社会システムの構築 | ⑤安心・健康でゆとりのあるくらしの実現 | ⑥将来にわたって持続可能な都市空間・インフラ | ⑦多様な市民の参画による地域コミュニティの活性化 |
|------------------------|--------------------------|-----------------|----------------------------|---------------------|------------------------|--------------------------|

各施策に数値目標・KPIを設定

- 策定の背景(時代の潮流)に加え、以下のような神戸市、及び国の戦略等を踏まえ、神戸2025ビジョンを策定
 - 神戸人口ビジョン : <https://www.city.kobe.lg.jp/documents/35913/jinkovisionkaitei.pdf>
 - 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」 : <https://www.chisou.go.jp/sousei/info/pdf/r02-12-21-senryaku2020.pdf>
 - 神戸市withコロナ対応戦略 : <https://www.city.kobe.lg.jp/documents/37423/withkoronasenryaku.pdf>

SDGsとの関わり

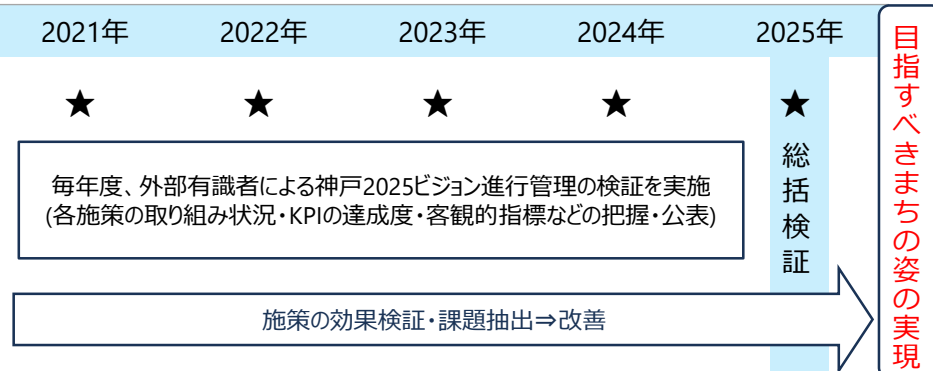


神戸2025ビジョンとSDGsの関わり

- 「持続可能な開発目標（SDGs）」とは、平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています
- 神戸2025ビジョンにおいてもSDGsの目標を意識し、ビジョンの実現を通じて神戸におけるSDGsの達成をめざしていきます

ビジョンの進行管理

- 毎年度、基本目標(施策の柱)ごとに定める数値目標の達成度、各施策の取り組み状況やKPI(重要業績評価指標)の達成度を把握するとともに、まちの質・くらしの質を示す客観的指標やSDGsローカル指標等のデータも踏まえながら、効果検証を実施し、課題の抽出や改善を行う
- また、社会経済情勢などの外部環境に大きな変化が生じた場合には、見直しの検討を行い、柔軟に対応



SDGs17のゴールとビジョンの各基本目標

- 各基本目標はSDGs17のゴールと紐づいている

①魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長



②妊娠・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実



③多様な文化・芸術・魅力づくり



④災害や感染症などを踏まえた安全な社会システムの構築



⑤安心・健康でゆとりのあるくらしの実現



⑥将来にわたって持続可能な都市空間・インフラ



⑦多様な市民の参画による地域コミュニティの活性化



2.神戸市SDGs債の概要





神戸市SDGs債の概要

- 2021年3月、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、「神戸2025ビジョン」はSDGsの達成に資するものという第三者評価を取得
- 本評価に基づき、神戸市はすべての債券を「神戸市SDGs債」として発行することとした

神戸市SDGs債の概要

	通常のSDGs債	神戸市SDGs債
ICMA原則	準拠	準拠せず
資金使途	制約あり	制約なし
年限選択	事業内容に応じて	市場環境に応じて
レポート	資金使途(指定事業別)	発行体の掲げる事業別
第三者評価	フレームワークに付与	事業運営方針に付与
目指す成果	ESG/SDGsへの貢献	

地方債を財源とすることができる事業はそもそも法制度上の制約が存在しているため、円滑な資金調達と事業運営を実現する観点から、更に調達資金充当先の制約を設ける通常のSDGs債の発行手法は採用せず

投資表明投資家一覧①（令和4年11月10日時点、五十音順）

- アセットマネジメントOne株式会社
- 石原ケミカル株式会社
- 茨城県信用保証協会
- エスアールエンジニアリング株式会社
- 株式会社 F・O・ホールディングス
- 邑楽館林農業協同組合
- 岡山県市町村総合事務組合
- 公益社団法人沖縄県地域振興協会
- オリックス銀行株式会社
- 尾張中央農業協同組合
- 加古川市
- 鹿児島県
- 春日倉庫株式会社
- 神奈川県市町村職員共済組合
- 株式会社 上組
- 株式会社かんぽ生命保険
- 株式会社京都銀行
- 株式会社きらぼし銀行
- 呉信用金庫
- 学校法人 神戸華僑幼稚園
- 社会福祉法人神戸市垂水区社会福祉協議会
- 株式会社神戸商工貿易センター
- 学校法人神戸薬科大学
- こくみん共済 coop〈全労済〉
- 埼玉中央農業協同組合
- 三田市水道事業
- JA共済連（全国共済農業協同組合連合会）
- 信金中央金庫
- 吹田市
- 住友生命保険相互会社

神戸市SDGs債の概要



投資表明投資家一覧②（令和4年11月10日時点、五十音順）

- 株式会社セブン銀行
- 全国市町村職員共済組合連合会
- ソニー銀行株式会社
- 大樹生命保険株式会社
- 第一生命保険株式会社
- 大同生命保険株式会社
- たじま農業協同組合
- 田中工業株式会社
- 丹波市
- 千葉県
- 銚子信用金庫
- T&D フィナンシャル生命保険株式会社
- 株式会社東海理化電機製作所
- 東京海上アセットマネジメント株式会社
- 株式会社徳島大正銀行
- 株式会社ドンク
- 長崎縣市町村職員共済組合
- 長崎市
- 長浜市
- 有限会社ニシムラサービス
- 西脇倉庫株式会社
- 日本地震再保険株式会社
- 日本生命保険相互会社
- 株式会社兵庫県公社住宅サービス
- 兵庫県信用保証協会
- 公益財団法人 兵庫県予防医学協会
- 福岡県
- 防衛省共済組合
- 株式会社北洋銀行
- 北海道信用保証協会
- 三重県信用保証協会
- 三木市水道事業
- 株式会社みずほ銀行
- 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
- 株式会社三菱UFJ銀行
- 宮島ポートレース企業団
- 明治安田アセットマネジメント株式会社
- 株式会社山形銀行
- 株式会社 ヤマサ環境エンジニアリング
- 大和郡山市
- 株式会社山梨中央銀行
- 株式会社琉球銀行
- 和歌山県市町村総合事務組合

3. 各施策の取組状況、KPIの達成度





基本目標 1 魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長

- 本市の人口動態は、大学卒業後の25歳～29歳の世代の転出超過、特に東京圏への流出が顕著になっている点が特徴的。人口の東京一極集中により、産業も東京に集中する傾向にあり、既存の地元産業の活性化対策と、新たな産業の振興に危機感を持って取り組む必要あり
- また、「六甲山上スマートシティ構想」や「里山・農村地域活性化ビジョン」を推進するとともに、自然が持つ多様な機能を活用し、地域課題の解決をめざす「グリーンインフラ」の取り組みも推進

基本目標①の数値目標

数値目標	2022年度の達成度
雇用創出数(医療関連企業を含む):3,400人 (2021~2025年度)	順調 (714人)
大学生アンケート「勤務希望地を「神戸市」とした人の割合:45%以上(2025年度)	遅れ (32.3%)

取組事例① スタートアップ支援・イノベーション創出

- 2021年4月開設のビジネススクエア「ANCHOR KOBE」(アンカー神戸)においてイノベーション創出に取り組むほか、市内大学や企業と連携し、起業から成長まで包括的な支援事業を行うことで、域内スタートアップ・エコシステムの構築を目指す



「ANCHOR KOBE」の開催風景

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
域内スタートアップ設立数:80社(2021~2025年度)	順調 (21社)
域内大学発ベンチャー設立数:20社(2021年度~2025年度)	順調 (6社)
域内スタートアップVISA認定件数:15件(2021~2025年度)	やや遅れ (2社)

取組事例② ～六甲山上スマートシティ構想の推進～

- ITベンチャー等の都市型創造産業が集積する「自然調和型オフィス」、IoT技術等によるサービスが実現する「最先端テクノロジー」、企業・クリエイター・住民のコラボレーションが生まれる「創造を生むつながり」の3つの環境を創出



シェアオフィス「ROKKONOMAD」

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
山上オフィス企業会員数:200社(2023年度)	遅れ (67社)
山上オフィス月あたり利用者数:延1,800人(2023年度)	遅れ (382人)

基本目標 2 妊娠・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実



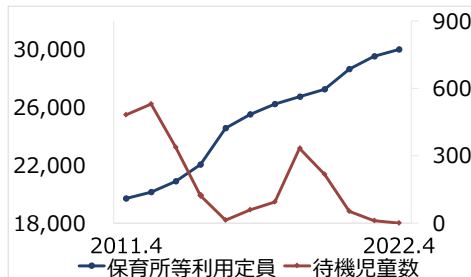
- 出生数が年々減少し子育てをめぐる環境が大きく変化する中、神戸の未来の担い手を育てるため、出産・子育て・教育の切れ目のない支援に取り組むほか、仕事と家庭の両立に向けて保育施設などの整備、学童保育の充実などを推進
- 神戸の歴史、自然環境、多様性の豊かさなどの神戸の特徴を活かした特色ある教育や、文化センターなどを活用した学びの環境整備、教職員の働き方改革などを通して、神戸らしい子どもの、健やかな育成につなげる

基本目標②の数値目標

数値目標	2022年度の達成度
在住者アンケート「子育て環境が良いまち」「教育環境が良いまち」の評価:ともに70%以上(2025年度)	遅れ (子育て環境: 49.5%、教育環境: 51.2%)

取組事例① 仕事と子育ての両立支援

- 待機児童対策・保育士などの負担軽減・病児保育・学童保育などの充実に加え、保育施設とあわせたコワーキングスペースの整備への研究や子育て世代の働く環境の整備など、仕事と子育ての両立支援に向けた取り組みを実施



取組事例② 神戸の特色ある学びの推進

- AIやITが進化した時代に必要となる創造性を育む活動を展開するとともに、神戸の自然環境を活かした幼児期からの自然体験を推進。持続可能な未来を実現するための創造的学びを、地域・企業との連携を深めながら推進



神戸グローバル教育センターの活動風景
(全国大学生マーケティングコンテスト決勝大会)

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
創造的な学びを取り入れた新たなプログラムを行う小学校:30校(2025年度)	遅れ (2校)
神戸グローバル教育センターの設立:日本英語模擬国連 (JUEMUN)を主催(3年に1回)	<ul style="list-style-type: none"> ● JUEMUN (日本大学英語模擬国連大会) への参加 ● 模擬国連神戸大会の開催 ● 模擬国連NY大会への参加

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
教育・保育施設などの利用定員:30,629人(2024年度)	順調 (30,484人)
育休復帰のためのカウンセリング、セミナーの参加者数:700人(2021年度～2025年度)	順調 (191人)



基本目標 3 多様な文化・芸術・魅力づくり

- 全国的に人口減少、東京圏一極集中が進行する中、市民がさまざまなシーンで居心地の良さを実感できることに加え、市外の人に対しても継続的なアプローチにより段階的に神戸との関係性を深化させていくことが必要
- 自然環境や国外の影響を受けながら発展してきた多彩な文化や、多様な背景を持つ人々といった神戸の強みを活かしながら、文化・芸術・スポーツを振興し、多様な食文化を育むなどのまちの魅力を高めるソフト面の取り組みを進める

基本目標③の数値目標

数値目標	2022年度の達成度
観光消費額:3,700億円(2025年)	順調 (2,819億円)
在住者アンケート「楽しむ場所として魅力的である」の評価:80%以上(2025年度)	やや遅れ (74.3%)

取組事例① 文化財の新たな保存と活用の推進

- 「神戸市文化財保存活用地域計画」を作成し歴史的な遺産の保存・活用を推進、市民も含めた協議会により具体的な方策を検討。「神戸歴史遺産」を認定し継承機運を醸成、保存活用が必要な事業に助成



宮野尾神社の獅子舞

取組事例② 神戸観光の推進

- 新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の落ち込みからの回復をめざし、神戸ならではの観光資源や多彩な魅力の発掘や国内外へのプロモーションを強化し、滞在型観光を進めることにより神戸観光を推進



近場旅KOBECAMP

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
・指定文化財などの新規指定など件数:10件(2021～2025年度)	遅れ (1件)
未指定文化財の神戸歴史遺産新規認定件数:30件(2021～2025年度)	順調 (5件)
基金からの助成件数:15件(2021～2025年度)	順調 (8件)

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
観光消費額:3,700億円(2025年)	順調 (2,819億円)
日本人延べ宿泊者数:590万人(2025年)	順調 (545万人)
外国人延べ宿泊者数:100万人(2025年)	遅れ (2万人)
国際会議開催件数:420件(2025年)	遅れ (22件)

基本目標 4 災害や感染症などを踏まえた安全な社会システムの構築



- 地震・集中豪雨など自然災害の頻度が増し、withコロナが継続する時代において、災害に強い社会基盤を構築し、あらゆる災害や感染症から市民の安心・安全な生活環境を守る必要あり
- 強靱なまちづくりと充実した医療提供体制の整備などを行い、誰もが充実した暮らしを送り、元気に活躍するための施策に取り組む。また、南海トラフ巨大地震に伴う津波対策として、避難を中心としたソフト対策に加え、防潮堤などのハード対策を進め、津波による浸水被害の軽減をめざす

基本目標④の数値目標

数値目標	2022年度の達成度
行政手続きのスマート化率:件数ベースで70% (2025年度)	順調 (52.1%)

取組事例① 災害に強いみなとづくり

- 南海トラフ巨大地震に伴う津波対策として、減災を目標に防潮堤などの構造を補強するとともに、津波時にも防潮鉄扉及び水門を迅速かつ安全に閉鎖できるよう防潮鉄扉の遠隔操作化のハード対策を進める



防潮鉄扉@新港第一突堤

取組事例② 感染症などを踏まえた消防・救急体制の確立

- 職員間の感染防止に配慮した庁舎整備や、「行政手続きのスマート化」を推進し、感染症の次なる波や感染爆発時においても、市民の安心・安全を守り続ける消防・救急体制を確立



神戸市スマート申請システム「e-KOBE」

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
鉄扉の遠隔操作化78基:完了(2024年度完了)	順調 (49基)

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
消防局における申請・届出などの「スマート化」:総処理件数の70%(2025年度)	順調 (58%)
感染防止資器材の備蓄量:6か月分(2025年度)	順調 (備蓄済み)

基本目標5 安心・健康でゆとりあるくらしの実現



- 総人口が減少し続け、高齢化が進行する中、高齢者、障がい者、介護が必要な方など、誰もが安心・安全に暮らしていける環境づくりや、多様化する健康意識に対応したきめ細かな健康づくり施策を通じて、健康増進、健康長寿社会の実現をめざす必要あり
- 「MY CONDITION KOBE」の取り組みなど全ての市民が健康で心にゆとりのある暮らしができるまちづくりや誰もが外出しやすいまちへの取り組み、高齢者の方や家族が安心して暮らせるシニア世代にやさしいまちづくりを推進

基本目標⑤の数値目標

数値目標	2022年度の達成度
がん検診の受診率:50%(2025年度)	順調 (胃43.0%、肺44.2%、大腸44.7%、子宮40.4%、乳46.1%)
65歳以上の要支援・要介護認定率:23.6%(2025年度)	順調 (21.4%)

取組事例① 障がい者への支援

- 障がい者が地域で安心して住み続けていくために、身近な地域における住まいの確保や、福祉や医療サービスの専門職を増やすなどの、高齢化や重度化、「親なき後」を見据えた暮らしを支える支援の取り組みを推進



ひょうご障害者相談支援センター

取組事例② 神戸医療産業都市の推進

- iPS細胞を活用した網膜再生医療の臨床研究や、国産初の手術支援ロボットなど、さまざまな成果を生み出してきた神戸医療産業都市のさらなる成果の創出をめざし、医工連携人材の育成や医療機器開発エコシステム構築を図る



国産初の手術ロボット「hinotori」

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
計画相談支援専門員の人数:60人増 (2021~2025年度)	順調 (21人増)
グループホーム(定員数):1,000人 (2025年度)	順調 (1,356人)

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
神戸未来医療構想に参画する神戸大学や企業による研究開発により、国産手術支援ロボットに実装される新技術の件数:5件(2021~2025年度)	0件

基本目標 6 将来にわたって持続可能な都市空間・インフラ



- 神戸全体の衰退を防ぐため、老朽化した施設、建物、インフラを再整備する必要あり。また、自然や景観などの空間や流れる時間が豊かな「疎の空間を活かしたまちづくり」に注目することも重要
- 生活と産業を支える道路・上下水道・公園・鉄道・港湾・エネルギーなどの長寿命化や健全性確保を図ることに加え、他都市にはない神戸の魅力である六甲山や帝釈・丹生山などの森林についても、その多様な機能を十分に発揮させ、都市環境を守るため引き続き整備を進める

基本目標⑥の数値目標

数値目標	2022年度の達成度
・二酸化炭素排出量:実質ゼロ(2050年まで)	(参考: ▲36.2% 2019年度)
・在住者アンケート「交通や生活利便施設などの利便性が高い」の評価:85%以上(2025年度)	順調 (85.2%)

取組事例① きめ細かで持続可能な交通環境の形成

- 市民の足を広く担う市バスについて、より使いやすく将来にわたって安定したサービスの提供などを通して、持続可能で体系的な公共交通ネットワークを構築。MaaSに関しても民間事業者などによる実証実験などに対して支援を行う



塩屋 コミュニティタクシー「しおかぜ」

取組事例② 持続的な農漁業振興のための環境づくり

- 神戸の農村の環境を最大限活かし、持続可能な農業と快適な里山暮らしを実現する。また、市民に対する漁業体験・漁業教育の場づくりや、海域の適正な栄養環境の保全に努め、豊かで美しい神戸の海づくりをめざす



KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
公共交通分担率:35%(2025年度)	順調 (34.4%)
多様な移動手段の導入地区数:20地区(2025年度)	順調 (8地区)
新たなモビリティを活用した事例数:10事例(2025年度)	順調 (11事例)

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
営農組織の広域化・法人化: 5件(2021~2025年度)	遅れ (0件)
農村移住件数:75件(2021~2025年度)	順調 (16件)
農村地域における起業数:125件(2021~2025年度)	順調 (39件)

基本目標 7 多様な市民の参画による地域コミュニティの活性化



- 少子高齢化が進展する中、優秀な人材をいかに各大学で獲得・育成し、卒業後の市内への定着、各分野での活躍につなげていくかが課題。地域のコミュニティについては、課題の多様化、複雑化が進んでおり、SDGsの取り組みにおいても、地域で支えあう活動が一層重要視されている
- 幅広い分野において、行政内部での組織横断的な取り組みを強化するとともに、NPO、企業、大学などとの連携を促進。多様な世代や背景を持つ市民との協働と参画により、地域特性に応じたコミュニティを形成

基本目標⑦の数値目標

数値目標	2022年度の達成度
市内留学生数(大学・短大):5,000人(2025年度)	順調 (4,166人)
民間事業者と連携して実施したプロジェクト数:累計700プロジェクト(2021年～2025年度)	順調 (183件)

取組事例① 地域活動の活性化

- 地域課題の解決に取り組むNPO・企業・大学との連携や、市内各地域の多様な地域特性に応じた地域コミュニティ施策の推進により、人口減少社会を見据えた「総合的・自律的な地域コミュニティ」の環境づくりにつなげる



地域福祉センター

取組事例② 在住外国人との共生の推進

- よりきめ細やかな双方向型情報共有ネットワークの構築や外国人の方も安心して医療機関を受診できる体制の確立を通じて、日本人と外国人が地域とともに生活することのできる「多文化共生」のまちづくりを推進



神戸国際コミュニティセンター

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
地域福祉センターの子育て世代の利用割合: 4割(2025年度)	順調 (11.12%)

KPIの達成度

KPI	2022年度の達成度
日本語学習関連拠点の拡充:55か所(2025年度)	順調 (52か所)
外国人も対象となる広報物の多言語対応率:100%(2025年度)	順調 (81%)
多文化共生推進拠点の増設: 3か所(2025年度)	順調 (4か所)



神戸市

IR動画 右のQRコードよりご覧ください

HP <https://www.city.kobe.lg.jp/a61436/shise/financial/shisai/index.html>

